

意見書

9月定例議会で委員会から発議された意見書の内容と、採決の結果は次の通りです。

提出 国

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

平成14年、北朝鮮は拉致を認めて5人の被害者を返した。その後は5人の被害者の家族の帰還以外まったく進展はない。拉致問題は重大な主権侵害であり、かつ許しがたい人権侵害である。政府は、全精力を傾けてすべての拉致被害者を早急に救出するよう強く要望する。

可決

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全などを推進する市町村の役割をふまえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

可決

香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書

政府は、現場海域で撮影した映像を早急に公開すること。不法行為・犯罪行為に対しては、厳正に刑事手続きを進めること。尖閣諸島及びその海域の警備態勢・方針を抜本的に見直すとともに、領土・領海を守るために必要な法制度の整備、関係機関との連携、装備・人員の手当て等の拡充を急ぐこと。尖閣諸島の有人化と海の有効活用をはかること。尖閣諸島は歴史的にも国際法的にもわが国固有の領土であり、領土問題は存在しないという明確な事実を国際社会に示すこと。

可決

李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓外交の見直しを求める意見書

韓国の李明博大統領は、8月10日に島根県・竹島に不法上陸した。8月14日、天皇陛下の韓国訪問に言及し、「韓国を訪問したいなら、独立運動で亡くなった方々に対し心から謝罪をする必要がある」と述べた。8月15日の「光復節」での演説で、いわゆる従軍慰安婦問題についても言及し、「日本の責任ある措置を求める」などと述べている。韓国の行動は歯止めが効かなくなっている。対韓外交の総合的見直しを進めるべきである。

可決

提出 県

鳥取県老人クラブ社会参加活動促進事業の継続を求める意見書

老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な活動組織であり、高齢者の生きがいと健康づくりを進めてきた。最近「支え愛活動」などの社会貢献活動も、重要な柱としており、地域社会の守り手として、大きな期待が寄せられるところである。鳥取県老人クラブ社会参加活動促進事業について、平成25年度以降も、予算を確保すること。

可決

福岡県岡垣町から議会広報の研修に



視察に来た岡垣町議会広報委員(右側)

8月3日に、福岡県岡垣町議会の広報委員会が、大山町議会へ視察に来られました。視察の目的は、議会のインターネット中継を現実させるまでの経緯と、議会だよりだいせんの作成手法の調査でした。終盤には、岡垣町議会の広報委員さんと大山町議会の広報委員とで、意見交換をいたしました。紙面の内容を充実させるためなどの議論を交わしましたので、今後の議会だよりに生かしていきたいと思っております。